

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年9月18日

JAMA:

8月11日発表：新型コロナ対策を緩和：CDCガイダンス

【松崎雑感】

JAMAの「亀レス」(1か月遅れ)です。CDCが濃厚接触後や軽症感染後の自己隔離期間を短縮したという報告の紹介です。パンデミックの当初、感染から何日経てば二次感染しないかという研究がたくさん行われました。当時は最低10日間経たなければダメだという意見が多かったです。それは、ハイリスク感染者の新型コロナ死亡率が数%と高率だったためです。ワクチン免疫の広がりや新型コロナウイルス自体の毒性の低下により、死亡率が桁減ったため、まだ生きているウイルスが排出されているかもしれないが、まあいいか、という感じの隔離基準緩和だと思います。ただし、〇〇の場合〇日だと、ややこしいです(;^_^。

8月11日発表：新型コロナ対策を緩和：CDCガイダンス

Kuehn BM. **CDC Streamlines COVID-19 Guidance.** **JAMA.** 2022;328(10):918-919. doi:10.1001/jama.2022.15126

CDCは8月11日に、感染リスクのある場合の隔離ルールガイダンス（[guidance](#)）の変更緩和を発表した。

これは、Community Interventions and Critical Populations Task Force of the CDC's COVID-19 Emergency Response teamのリーダーの一人であるグレッタ・マセッティ博士が作成した。

ワクチン接種と高性能マスク着用、換気の徹底、治療法の進歩により新型コロナの二次感染リスクと重症化リスクが減少したことを背景に行われた。

「このガイダンスでは、コロナパンデミックがまだ収束していないとはいえ、新型コロナにより日常生活が大きく圧迫されるステージは終わろうとしていることに対応したものだ」とマセッティ氏は述べている。

このガイドンスでは、ワクチンを受けた人々も受けていない人々も、新型コロナ感染者と濃厚接触をした場合、10日間自己隔離をするのではなく、高性能マスクを着けて通常の生活を送り、接触から5日目に新型コロナの検査を受けるという対策に変更された。

さらに、接触歴のない無症状の人々に対して新型コロナスクリーニング検査を行うことは勧奨されないとしている。

この新たなガイドンスでは、新型コロナ感染症状が疑われる人々を隔離し、検査することを強調している。

検査が陽性となった人々には、二次感染リスクの高い時期である最初の5日間の自己隔離を要請する。

発熱などの症状がすべて消失した場合、24時間後に隔離を終了して、その後10日間、たとえ自宅であっても他人と接触する場合には、高性能マスクを着けるよう勧奨される。

希望者には、発病から6日目に検査を行い、48時間間隔を置いた2回の検査が陰性ならマスク着用を終了とすることもできる。

中等症から**重症**の患者の場合、10日間の自己隔離が必要である。ただし、症状が再燃したり悪化した場合は、5日間の追加隔離が必要である。

【新型コロナ臨床症状分類：NIH】

【**無症状、発病前**Asymptomatic or presymptomatic infection】
PCR or 抗原検査で新型コロナ感染と診断されたが、新型コロナ症状なし。

【**軽症**Mild illness】 **新型コロナ感染症状（発熱、咳、咽頭痛、倦怠感、頭痛、筋痛、嘔気、嘔吐、嗅覚・味覚障害など）があるが、息切れ、呼吸困難、肺炎像がない場合。**

【**中等症**Moderate illness】 肺炎像があるが、酸素飽和度 $\geq 94\%$ 。

【**重症**Severe illness】 酸素飽和度が94%未満で、動脈血酸素濃度 mmHg/吸入酸素濃度%が300未満の場合、あるいは呼吸数が30回以上/分、肺炎像が50%以上の場合。

【**重篤症**Critical illness】 呼吸不全、敗血症性ショック、多臓器不全を伴う場合。